BIG DREAMS with BIG SMILE

"自己実現」自主自立 そして夢の実現"

でうのうち

佐世保市立神浦小学校 今年度のキーワード ^{学校便り}

「つなぐ (繋ぐ)」 No.23

平成27年9月1日(火) 文責:校長 園田俊郎

学校教育目標 : 心やさしく 進んで学び たくましく生きる子どもの育成

きあっ、前期後半のスタートです!! 自分を高め、真切らき歌にしよう!!



45日間の長い長い夏休みが終わり、前期の後半がスタートしました。(前期は10月9日までです。)前期前半の登校日数は6~2年生が71日。1年生が69日でしたから45日間というのはその6割以上にあたります。学校へ登校して学習してきた日々と同じように、長かった夏休 -

夏休み中も、生活リズムを崩さず規則正しく生活し、計画に沿って学習や遊びに取り組んできた子どもは、9月になり、学校が始まっても、スムーズに学校生活のリズムに戻れるものです。夏休み前、子ども達には規則正しく計画的な生活をすることを伝えていました。

みの45日間に、どのように過ごしてきたかが、この9月以降に影響してくるものです。

夏休み明け、学校では、まず子ども達の状態を把握しながら指導していきます。ご家庭におかれましても、 夏休み同様、子ども達の『自立』を目指しながら『関わり』を意識していただくと有り難く思います。



子ども達は、何よりも大切な『命を守り、大切にする』という約束を守って、元気に登校してくれました。地域行事「龍神祭」への参加や、放課後子ども教室わくわくタイムの各種活動、児童センター主催の各種活動、花火大会その他、様々な機会に、様々な場で、いろいろなことに挑戦し、体験できた夏休みだったようです。五感を通して感じた様々な実体験や人との関わりは、子ども達の経験値を高め、人としての幅を広げるものであり、そのことは、子ども達をひと回りもふた回りも大きくしてくれたものと思います。

いっも以上に「故郷」を感じる夏休み! 世郷とは『人』の繋がり

夏休み中は、子ども達が様々な場所で地域の皆様のお世話になりました。誠にありがとうございました。 子ども達、元気なあいさつはできていたでしょうか? 礼儀正しい振る舞いができていたでしょうか? 夏休みは、日常生活の中で、あるいは島内各地の様々な場所での行事などの中で、普段は会えない親戚や地域の方々と言葉を交わす機会、心を通わせ繋ぐ機会が多くあったのではないでしょうか。

9月の行事予定 🦠

1日(火)前期後半開始,あいさつ・声かけ運動 授業・給食開始,全校朝会,大掃除

2日(水)地区児童会,身体測定

3日(木)授業参観・懇談会 校内夏休み作品展(~7日まで)

4日(金)避難訓練

9日(水)委員会活動

18日(金)運動会総練習

21日(月) 敬老の日・

秋の交通安全運動(30日迄)

22日(火)国民の休日

23日(水)秋分の日

25日(金)運動会会場設営

26日(土) PTA 地域テント設営

27日(日) <u>神小・ふたば保育園・地域合同運動会</u> ※雨天延期時 10月4日(日)

28日(月)運動会振替休業日

30日(水)全校朝会

本校卒業生の方の次のような言葉がありました。

『島を離れ、大人になってやっと気づいたことは、私達は先生、地域の大人、親達にどれほど守られていたかということです。子どもの私達に真剣に向き合い、しかってくれて、ちゃんと見ていてくれた。あの時注がれた大人の真っ直ぐな眼差しやその熱量は、今も私の中に鮮明に生きていて基盤になっていると実感しています。その愛を我が子にも繋いでいきたいと思います。』(※要約)

私は『故郷(ふるさと)』とは、場所ではなく『人』だと思います。人の絆、人の繋がりこそが本当の故郷、心の故郷だと思っています。ここ宇久島には、そんな濃く、強い絆をもつ人間関係が残っており、優しさや温かさ、そして強さがあるように思います。これからも温かく見守って頂きますと共に、必要に応じて、時には厳しく叱って頂ければ幸いです。

夏休み,海や山,自然の中で過ごし,自然に触れる機会も多くなり,あらためて身近な故郷の美しさや素晴らしさをより強く感じることもあったのではないかと思います。人,そして自然。夏休みは普段以上に「故郷」を感じることができ、故郷を愛する豊かな心を育む時期のように思います。みんな有意義に過ごせたかな?元気の源、故郷エネルギー、人間エネルギーは充填しました。さあ、9月も張り切っていきましょう!!